

卒論相談会: 孤独の卒論、脱却へ

2024.10.29

卒論提出までの道のり

| 期限 | フェーズ | 内容 |
|------------------------------|---------------|--|
| 10 月中 | 1) 研究テーマの決定 | - 研究しやすいテーマの選定 |
| 10 月 31 日 17:00 まで | 2) 卒業論文受講届の提出 | - KOAN で題目と指導教員を登録し、受講届を印刷して提出 |
| 11 月から 12 月中旬頃 | 3) 情報収集 | - 先行研究を網羅的に収集 - 一定の枠組みで資料を選定し、適宜外国語文献も活用 |
| 年内 | 4) 集中的な執筆 | - 研究の背景や目的をまとめ、リサーチクエスションを設定 - 質的・量的調査を使い分け、最終的な考察を提示 |
| 正月から 1 月中旬 | 5) 書き直し | - 校正やスタイルの統一 - 引用文献の形式を確認 |
| 1 月 6 日 から 1 月 20 日 17:00 まで | 6) 卒業論文の提出 | - 外国語要旨をネイティブチェック - 形式的な完成度を重視 |

1) 研究テーマの決定 (10 月中)

- 膨大な数の先行研究があるテーマ、全く先行研究のないテーマ、私的な興味や学問的関心のないテーマは研究しづらい。
- 論文に必要なものはデータと方法論の 2 つ。「○○に関する△△学的研究」と自分のテーマを読者に伝えられると良い。
- 現時点でテーマが明確に決まっていない人は、早急にゼミの指導教員に相談すること。教員側も 0 から 1 を生み出すのは難しいので、これまでの大学での学びを振り返って、ある程度自分の興味や関心のある分野を考えておく。

2) 「卒業論文受講届」の提出（10月末まで）

- KOANにて論文題目と指導教員名を入力のうえ、「卒業論文受講届」の出力及び印刷を行い、自署したものを10月31日（木）17:00迄に教務係に提出。
- タイトルと論文の内容は必ず一致させること。本文の内容が推察されるタイトルをつける。

3) 情報収集（11月から12月中旬頃）

- 十分な量の先行研究を網羅的に収集し、批判的に検討する。まずは当該分野の簡単な研究史をまとめ、自分のテーマをその中に位置付ける。
- 情報収集は恣意的に進めるのではなく、一定の枠組みをもって行う。ウェブ上の文章など入手しやすい資料だけを利用するのではなく、外国語文献も積極的に活用する。
- 調査を含む研究過程では調査協力者への損害があってはならない。研究に関わる全てのデータは後に検証が可能な形で保管しておく。
- 資料収集の具体的な方法については、[「文献検索ガイダンス」\(PDF資料\)\(大阪大学外国学図書館作成\)](#)がおすすめ。
- なお、資料収集で行き詰まったときは、図書館職員（3階レファレンスカウンター）、LS（3階るくす）が頼りになる。

4) 集中的な執筆（年内）

- まずは本論の導入として、研究の背景や目的、広い意味での意義をこれまでの研究史をもとにまとめる。
- 次に、当該分野のこれまでの先行研究を整理しつつ、新たな視点からの論証が可能なリサーチクエスチョンを示す。
- 上記で設定したリサーチクエスチョンへの解答を目指して、質的調査もしくは量的調査などの研究方法を適宜有効に使用しつつ、収集したデータを読み解いて、最終的な考察を提示する。
- 最後に、まとめとして想定される今後の課題を適切に定める。
- どの段階においても助力が必要な場合は、まずは指導教員の指導を仰ぐ。論文の構成や内容によってはLSも助けになる。

5) 書き直し（正月から1月中旬）

- 文の乱れ、誤字脱字、文法上の誤用などに留意して校正を行う。
- 引用した外国語の綴りや転写が適切であることを確認する。
- 本文中で引用及び参照した文献が全て適切な形式で参考文献として挙げられているかを確認する。
- 全体を通して、フォントを含むあらゆるスタイルを統一させる。
- 読者を丁寧に導くつもりで、読み手が独力で最初から最後まで読み通すことのできるコンパクトな章、節構成を心がける。

6) 「卒業論文」の提出

- 提出は、2025年1月6日（月）～1月20日（月）17:00 に行う。
- 要旨（論文の概要）を外国語で書く場合は、ネイティブの先生に必ず見てもらうこと。
- 先行研究やデータの改ざん、捏造、他の人の文章の剽窃、第三者による執筆代行などの研究上の不正は絶対に行わない。
- 卒論では内容の高度さよりも形式的な完成度の方が評価される。
- 体調にはくれぐれも気を付ける。